

## 学校のあり方検討委員会 最終答申骨子案

## 財政的視点(改訂版) 阿智村教育委員会

9月2日,学校のあり方検討委員会から最終答申骨子案が示されました。現在まで検討されてきた学校のあり方具体案(A案・B案・C案)を整理して,疑問や質問にお答えします。

## Q1 学校規模はどのくらい違うの?

A案:施設分離型義務教育学校(村内5小学校,1中学校)

B 案:義務教育学校とサテライト(分校)2校

C 案:義務教育学校

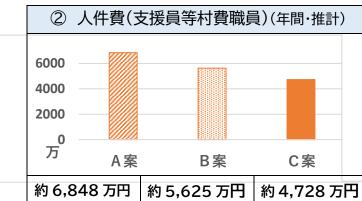
		A案 設分離型の	<b>B案</b> 義務教育学校と	<b>C案</b> 義務教育学校
		義務教育学校	1~4年の分校 2 校	
		施設分離型	義務教育学校本校	義務教育学校1校
		義務教育学校	浪合サテライト校	
1	校舎設置数	小学校5校舎	(1~4年)	
		中学校1校舎	清内路サテライト校	
			(1~4年)	
		第一小 101名	義務教育学校	義務教育学校
	児童生徒数	第二小 43名	1~9年330(+8)名	1~9年351(+16)名
2	(令和13年度見込み)	第三小 33名	浪合サテライト校	
	()は浪合山村留学生	浪合小 11(+16)名	1~4年 4(+8)名	
	推定数	清内路小 24名	清内路サテライト校	
		阿智中 139名	1~4年 17名	
		小中 6 校舎で校長1	本校に 校長1	学校に校長1
		小学校 5 校舎で	教頭1·養護2·事務2	教頭2+加配教諭1
3	校長·教頭·養護·事務	教頭1·養護1·事務1		養護2·事務2
		中学校校舎に	サテライト 2 校で教頭1	
		教頭1·養護1·事務1	(養護・事務は兼務)	
		第一小に1名	1~6年に1名	1~6年に1名
4	県費専科指導教員	阿智中に3名	7~9年に3名	7~9年に3名
			(分校は配置なし)	
5	村費複式支援員	5名(2400h不足)	2名(1200h余剰)	0名(3600h余剰)
	++弗吉切+K/首44-只	8名	音楽1名 司書1名	司書1名
6	村費専科指導教員		(4520h余剰)	(5320h余剰)
7	村費特別教育支援員	0.46人	0.63人	0.8人
	(1学級当たりの人数)			/lan±88\

(h=時間)

## Q2 財政的に比べるとどのくらい違うの?



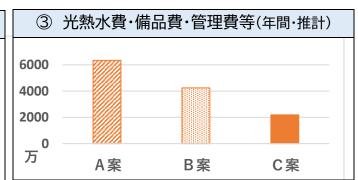
		<b>A案</b> 施設分離型の	<b>B案</b> 義務教育学校と	<b>C案</b> 義務教育学校
		義務教育学校	1~4年の分校 2 校	
1	学校数	小学校5校舎 中学校1校舎	義務教育学校1校 分校2校	義務教育学校1校



△支援体制が分 散するため、人 的リソースの 非効率な配置 が避けられま せん。

△本校・サテラ イト校に人材を 分散配置する 必要がありま す。

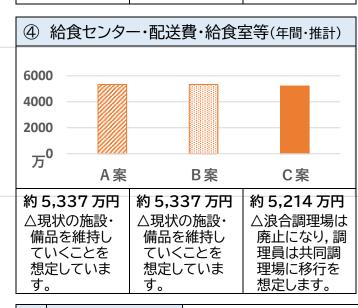
○集約により役 割分担が明確化 され、人件費の 最適化と支援の 質的向上の両立 ができます。

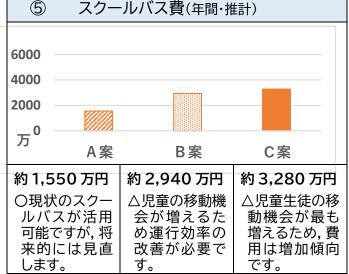


約 6,340 万円 △各校での個 別管理とな り、重複支出 と非効率な運 用が心配で す。

約 4,245 万円 △一部共通化は 可能ですが、サ テライト校では 個別対応が必 要です。

約 2,188 万円 〇一括管理によ る効率化が進 み、年間運営 費用の大幅削 減可能です。





6	設備維持費 (年間·推計)	<b>約 4,300 万円</b> △施設の分散により補修 コストが高く、非効率性 が顕著です。	<b>約 1,500 万円</b> △一部集約により軽減 可能ですが、サテライ ト校の維持で効率化は 限定的となります。	<b>約 200 万円</b> ○1 施設に集約されることで、補修コストが大幅に削減されます。 (小学校校舎を新築と仮定)
7	長期累計費用 (長寿命化含む 40年累計) 統合新築費	<b>約 217 億 5000 万円</b> ○新築は不要ですが, 補 修費は継続的に発生し ます。	<b>約 149 億 6000 万円</b> △本校整備・サテライト 維持のためには、投資 が必要です。	<ul><li>約 89 億 4000 万円</li><li>○既存中学校施設の活用により,新築費の抑制が可能です。</li><li>(新築費約 17 億円を含む)</li></ul>

阿智村教育委員会学校教育係 (FAX) 0265-45-2126 (電話) 0265-45-1231

(担当) 学校教育専門主事 松澤

(E-mail) kyoiku@vill.achi.lg.jp